

- ▶ 新型コロナは全国的に感染の増加が継続している。今後の感染状況について、増加が予測されており、**今夏のような感染拡大となる可能性**もある。また、季節性インフルエンザは、**一部の地域で増加傾向**がみられる。病床使用率は**全国的に上昇傾向**にあり、救急搬送困難事案についても、**全国的に増加傾向**となっている。
- ▶ こうした感染や保健医療体制の状況を踏まえ、第2回会合で取りまとめた方針に基づき、従来の呼びかけ（※）に加えて、リーフレット（資料5の2、3枚目）も活用しつつ、**重症化リスクに応じた外来受診・療養を呼びかけていく。**

※ 現在、同時流行への備えとして、「ワクチン接種の検討」「体調不良時に備えた、解熱鎮痛薬や国が承認した新型コロナ検査キットの早めの購入」「電話相談窓口などの連絡先確認」をお願いしている。

（注1） エビデンスは十分ではないものの、新型コロナとインフルエンザに**同時に感染した場合に重篤化**することを示唆する研究もあり、地域の流行状況によっては同時感染も考えられる。こうしたことから、重症化リスクが低い方については、体調に留意し悪化した場合には速やかに健康フォローアップセンターや受診・相談センターにご相談いただくことが重要。

（注2） 感染拡大により医療のひっ迫が懸念される状況が生じた場合、**より強い呼びかけ**として、「医療機関が速やかに受診できない状況が発生しており、重症化リスクの高い方を守るため、重症化リスクの低い方に一層の御協力をお願いしたい。ただし、我慢しすぎて重症化することも懸念されるため、体調変化時など迷った時は、相談窓口に躊躇なくご相談いただきたい」旨呼びかけ。

（参考）「新型コロナ・インフルエンザの同時流行を見据えた感染状況に応じた国民の皆様への呼びかけ」より抜粋

| 感染が落ち着いている状況 | 感染者の増加が見られ同時流行 (又は新型コロナ/インフルの感染拡大)の兆しが見える状況 | 同時流行 (又は新型コロナ/インフルの感染拡大)により医療のひっ迫が懸念される状況 |
|--|---|---|
| 【コミュニケーションの狙い】 事前準備の促進： ▶ ワクチン接種の勧奨 ▶ 検査キット・解熱鎮痛剤の購入 | 【コミュニケーションの狙い】 重症化リスク別の行動喚起： ▶ 高リスク者：速やかな受診 ▶ 低リスク者：自己検査・自宅療養 | 【コミュニケーションの狙い】 重症化リスク別の行動喚起徹底： ▶ 高リスク者：速やかな受診 ▶ 低リスク者：自己検査・自宅療養 |
| 【提供情報のポイント】 ▶ これまでにない感染規模の想定 ▶ 医療ひっ迫のリスク | 【情報提供のポイント】 ▶ 重症化リスクが低い方は速やかな自宅療養を案内、発熱外来は高齢者等の重症化リスクが高い方を案内 | 【情報提供のポイント】 ▶ 発熱外来は高齢者等の重症化リスクが高い方へ重点的に対応 |